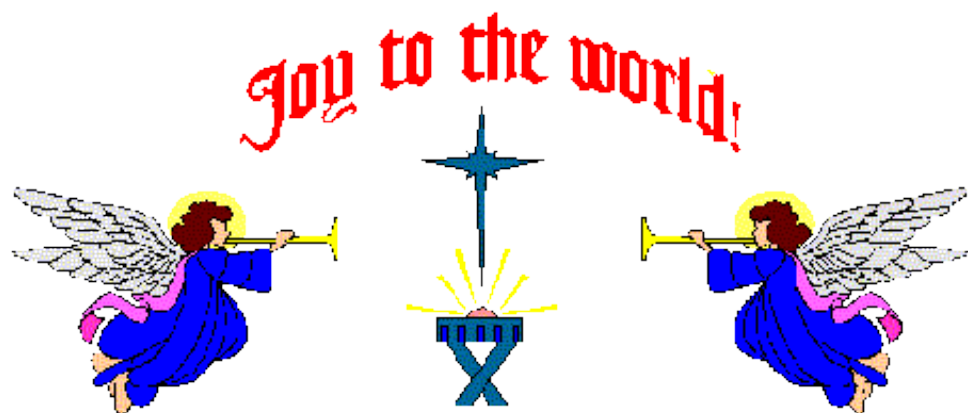


江刺保育園

聖誕劇

Christmas Pageant



2018年





Christmas Pageant

聖誕劇



登場人物

マリヤ		ひつじかい 1	
ヨセフ		ひつじかい 2	
		ひつじかい 3	
てんし 1		ひつじかい 4	
てんし 2		ひつじかい 5	
てんし 3			
てんし 4			
てんし 5		やどや 1	
てんし 6		やどや 2	
		はかせ 1	
		はかせ 2	
かたりて 1		はかせ 3	
ピアノ 1			
ピアノ 2			
ピアノ 3			



第1場面

<p>かたりて</p>	<p>はじめに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。 言葉の内に命があった。命は人間を照らす光であった。</p> <p>(一呼吸してから)</p> <p>わたしたち「すみれ組」が演じるこの物語 は、聖書に書かれている、イエス様のお 誕生の出来事を劇にしたものです。</p> <p>今から2018年前、イスラエルのナザレとい う村にマリヤさんという女の人がいまし ました。マリヤさんは、ヨセフさんと結婚の約束 をしていました。しかし、とつぜん、マリヤさ んの前に、おおぜいの天使が、現れたので す。</p>
<p>てんし1</p>	<p>マリヤよ、おめでとう。</p>
<p>てんし2</p>	<p>あなたに、かみさまの、おことばをつたえます。</p>
<p>てんし3</p>	<p>あなたは、もうすぐおとこのこをうむでしょう。</p>
<p>マリヤ</p>	<p>そのようなことはゆるされないことです。わたしにはけっ こんをやくそくした、たいせつなひとがいるのです。</p>
<p>くびを横に振り、戸惑いながら</p>	
<p>てんし4</p>	<p>うまれてくるあかちゃんは、かみさまのこどもです。 なにもしんぱいすることはありません。</p>
<p>てんし5</p>	<p>ヨセフはすべてをうけいれています。</p>
<p>マリヤ</p>	<p>いったい、わたしはなにをすればいいのでしょうか。 ヨセフはわたしをゆるしてくれるのでしょうか。</p>
<p>てんし6</p>	<p>すべてをかみさまにまかせなさい。 うまれるこどものなまえをイエスとなづけなさい。</p>
<p>すこし、考えて(間を置く) 立ち上がり、会衆に向かってゆっくり礼をして話す。</p>	
<p>マリヤ</p>	<p>はい、わかりました。 かみさまにすべてをおまかせします。 かみさまの、おかんがえのとおりにしてください。</p>




天使・・・一回りして退場

幕



第2場面

<p>かたりて</p>	<p>そのころ、ユダヤの国では、じぶんの生まれた所に行き、名前を登録しなさいという王様の命令があり、その国の人たちは、生まれたところに行かなければなりませんでした。</p> <p>マリヤさんとヨセフさんも旅をしていました。そして、ベツレヘムという町に着きました。</p> <p>(一呼吸してから)</p> <p>あたりはすっかりくらくらしていました。宿屋はどこも旅人でいっぱいでした。マリヤさんは天使のお告げのとおり、もうすぐ赤ちゃんが生まれそうになっていたのです。</p>	
<p>マリヤ</p>	<p>まあ、たくさんのひとたちですね。</p>	
<p>ヨセフ</p>	<p>とおくの、まちやむらからきたんだね。</p>	
<p>マリヤ</p>	<p>こんや、とまるどころがあるでしょうか。</p>	
<p>ヨセフ</p>	<p>しんぱいしないで。どこかやどをさがしますから。</p>	

手をつなぎ、幕の外にでる

<p>ヨセフ</p>	<p>こんばんは、こんばんは。</p>	
<p>やどや1</p>	<p>はい、どなたですか。</p>	
<p>ヨセフ</p>	<p>こんやひとばん、とめてください。</p>	
<p>やどや1</p>	<p>きのうも、きょうも、たびびとでいっぱいです。ひとへやもありません。べつのやどやにきいてください。</p>	
<p>ヨセフ</p>	<p>こんばんは、こんばんは。</p>	
<p>やどや2</p>	<p>はい、どなたですか。</p>	
<p>ヨセフ</p>	<p>もうすぐこどもがうまれそうなのです。こんやひとばん、どこでもいいですからとめていただけませんか。</p>	
<p>やどや2</p>	<p>それはたいへんそうですね。おきゃくさまをとめるへやではないのですが、うまごやでもよければ、どうぞあがってください。</p>	
<p>ヨセフ</p>	<p>たすかります。ありがとうございます。</p>	
<p>やどや2</p>	<p>こっちです、ついてきてください。</p>	

幕

賛美歌 「おとまりください」 ピアノ1:



第3場面

かたりて	そのころ、ベツレヘムの町外れにある山の草原では、羊飼いたちが、夜も寝ないで羊の番をしていました。 羊飼いかみ全員たき火をかこみ座っている。	
ひつじかい1	しずかな、よるだなあ。	
ひつじかい2	くらい、よるだなあ。	
ひつじかい3	さむい、よるだなあ。	
ひつじかい4	こんなよるにはたらいているのは、おれたちだけだ。	
ひつじかい5	こんやは、なにかがおこりそうだなあ。	
羊飼いかみ1立ち上がり、指差して言う		
ひつじかい1	あっ！ あれはなんだ。	
ひつじかい2	なにかひかるものがだんだんこっちにむかってくる。	
ひつじかい3	さあ、みんなにげよう。	
羊飼いかみ全員立ち上がる。横1列に並ぶ		
天使登場 1列に並ぶ。セリフを言う天使は手を上げ1歩前が出る。セリフを言ったら元の位置に戻る。		
てんし1	ひつじかいたち、こわがることはありません。	星を掲げ1歩前に出る。
てんし2	ダビデのまちベツレヘムに、ひとりのおとこのこがおうまれになりました。	星を掲げ1歩前に出る。
ひつじかい4	ダビデのまちベツレヘムに	1歩前に出る
天使全員、羊飼いかみを指さして		
てんし(みんな)	あなたがたのために	揃えて
ひつじかい5	みんなのために。	1歩前に出る
てんし3	おおくのひとたちが、まちのぞんでいたこどもです。	星を掲げ1歩前に出る
てんし4	このこそ、すくいぬしイエス・キリストです。	星を掲げ1歩前に出る
ひつじかい1	キリストがおうまれになった？	1歩前に出る
てんし5	あのかがやく、おおきなほしをめざしてゆきなさい。	星を掲げ1歩前に出る
ひつじかい2	そこで、わたしたちのすくいぬしがうまれたんですね。	1歩前に出る
てんし6	そのこは、うまごやのなかでねむっています。	星を掲げ1歩前に出る
ひつじかい3	どうして、そんなところでうまれたのですか。	1歩前に出る
てんし1	ひとびとが、かみさまのこころをしるために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし2	ひとびとが、あいしあっていきるために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし3	このよが、へいわになるために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし4	ひとびとがきぼうをもち、しあわせになるために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし5	イエス・キリストがうまれたのです。	星を掲げ1歩前に出る
てんし6	ひつじかいたち、すくいぬしイエス・キリストがうまれたところにゆき、みんなでお祝いしましょう。	星を掲げ1歩前に出る
ひつじかい2	わたしたちのために、すくいぬしイエス・キリストがおうまれになったのだ。	1歩前に出る
ひつじかい3	さあ、みんなでおいらいにいこう。	1歩前に出る
ひつじかい(みんな)	さあ、いこう。……いこう。	その場で

賛美歌 「そらには、てんしの…」 ピアノ2:
 歌い終わったら…天使、一回りして退場。その後、羊飼いかみ退場



幕

第4場面

かたりて	そのころ、 ^{ひがし} 東の ^{くに} 国の ^{はかせ} 博士たち ^{さんにん} 三人が ^{はな} 話し ^あ 合っていました。	
<p>博士1は机の前に立って空を見ている。 博士2、博士3は奥にある椅子に座っている。</p>		
はかせ1	せんせいがた、ちょっとここへきてごらんなさい。 ふしぎなものがみえますよ。	
<p>博士たちが集まる。</p>		
はかせ2	なんですか、いったい。	
はかせ3	どうしたのですか。	
はかせ1	ええ、ほら、あそこをごらんなさい。	星を指さす
はかせ2	かがやいているおおきなほしがみえます。	
はかせ3	なにかのしらせでしょうか。	
はかせ1	わたしは、あんなにひかっているおおきなほしをみたことがありません。	
はかせ2	あんなにおおきなほしが、きゅうにあらわれるなんて。	
はかせ3	さっそく、しらべてみましょう。	
<p>博士全員、聖書をめくって調べる。</p>		
はかせ1	これだ、たしかにこれにちがいない。	
はかせ2	なにがかいてあるのですか。 あのほしは、なにをおしえているのですか。	
はかせ3	「すくいぬしキリストがおおきなひかりのもとにうまれる」とかいてあります。	
はかせ1	あのほしがわたしたちを、すくいぬしのところへみちびいているのですね。	
はかせ (みんな)	さあ、あのほしをめざして、すくいぬしにあいにいきましょう。	全員指さす

賛美歌 「おほしがひかる」 ピアノ3:
1番を歌い、2番に入ったらひとまわりして、退場。

幕



第5場面

かたりて	ここは、ベツレヘムの馬小屋です。 うまれたばかりのイエス様が飼葉桶のなかで眠っています。	
ヨセフ	マリヤ、なんてかわいいあかちゃんだろうね。	
マリヤ	ええ、ほんとうに	
ヨセフ	でも、なんてみすぼらしいところで、うまれたんだろう。 なんという、みじめなゆりかごだろう。	
マリヤ	ほんとうに。 でも、ごらんなさい。このこはとてもやさしい、おだやかな かおをしていますよ。	抱き上げるゆ っくりとおお きな声で
ヨセフ	なまえはてんしのおつげのとおり、イエスとなづけよう。	
マリヤ	イエス、あなたはこれからどんなにけわしいみちをすすむの でしょう。 かみさま、このこがひとびとのこころに、しんこうと、きぼ うと、あいをあたえることができますように。 こころからおいのりします。	ゆっくりと おおきな声 で
天使登場、羊飼い登場(お祈りしてから並ぶ)、博士登場(お祈りしてから並ぶ) いそがない。ひざをつけて頭を下げる。		
かたりて	こうして大きな星に導かれて、羊飼いたちと、遠い東の国からや ってきた博士たちは、ベツレヘムの馬小屋でおさないイエスさまにあうこ ができました。 三人の博士たちがそれぞれ持ってきたものは黄金、乳香、そして死 んだ人の体につける薬、没薬でした。 (一呼吸してから) このイエス様が、私たちに神様を信じ、そして愛し合って生きるこ とを、おしえてくださったのです。 イエス様は、いつまでも私たちと一緒にいるのです。	

語り手、ステージにあがる。

はかせ (みんな)	せかいがへいわになるように。
てんし (みんな)	かみさまのしゆくふくで、せかいじゅうがみたされるように。
ひつじかい (みんな)	せかいじゅうのひとびとが、しあわせになるように。
マリヤと ヨセフ	わたしたしが「ひとにあいされ、ひとをあいする」ことができるように。
かたりて	さあみなさん、こころをこめてクリスマスのさんびか 「きよしこのよる」をうたいましょう。

賛美歌 「きよしこのよる」

ピアノ：担任

歌い終わったら、退場する。(語り手→天使→博士→羊飼い→マリヤとヨセフ)



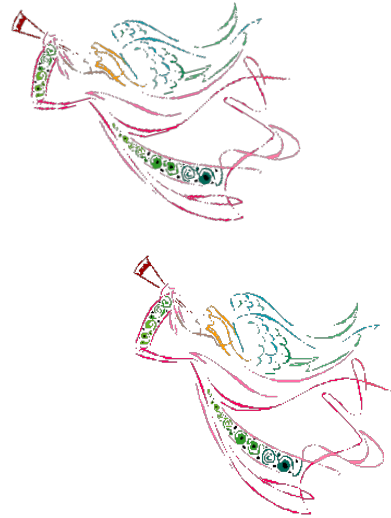
おとまりください

1. おとまりください ヨセフさん
おやすみください マリアさん
きれいなおへやじゃないけれど
かみさまがまもっておられます
2. せかいのみんなが まっていた
おさなごイエスさま うまれます
ほしのひかったふゆのよる
ユダヤのちいさなうまごやで



「そらにはてんしの」

1. そらにはてんしの うたごえひびく
すくいのみかみは ダビデのむらに
2. てんしのさんびは きよらにひびく
みかみにみさかえ ひとにはへいわ



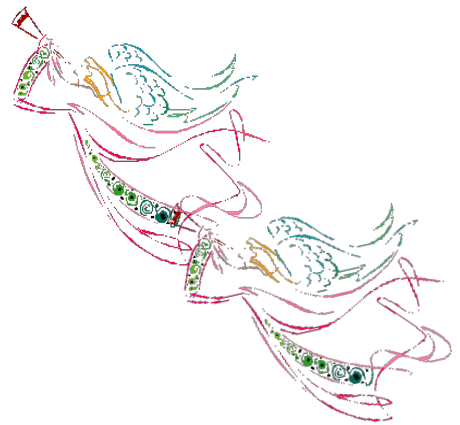
「おほしがひかる」

1. おほしがひかる ぴかぴか ふしぎにあかく ぴかぴか
なにがなにがあるのか おほしがひかる ぴかぴか
2. らくだがとおる かほかほ さばくのはらを かほかほ
どこへどこへいくのか らくだがとおる かほかほ
3. おほしがひかる ぴかぴか らくだがとおる かほかほ
そうだそうだこよいは めでたいきよい よるだよ



「きよしこのよる」

1. きよしこのよる ほしはひかり
すくいのみこは まぶねのなかに
ねむりたもう いとやすく
2. きよしこのよる みこのえみに
めぐみのみよの あしたのひかり
かがやけり ほがらかに





社会福祉法人 江刺保育園

2018年度版 聖誕劇シナリオ